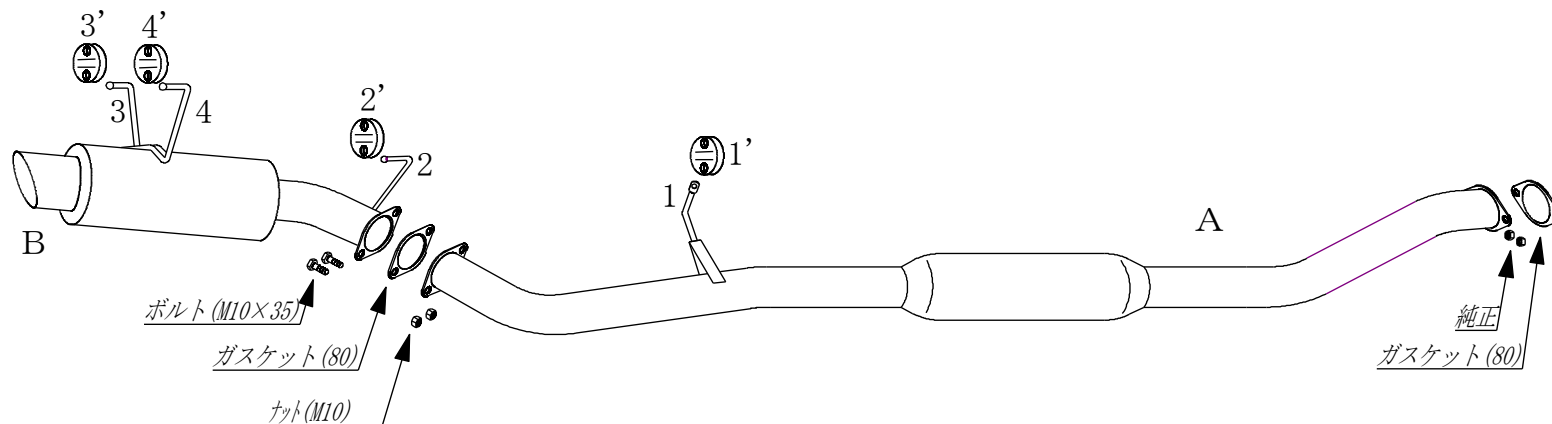


車検対応

構成部品及び付属品リスト	
品 名	数 量
本体(A)	1
本体(B)	1
本取扱説明書	1
ガasket(80)	2
ボルト(M10X35)	2
ナット(M10)	2
フランジナット(M8)	1



最低必要工具	
メガネレンチ	12mm14mm
ソケットレンチ	12mm14mm
トルクレンチ	

組付作業手順

警告！

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
 ※ 装着作業は必ず2名以上で行なってください。
 ※ 文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

仮締め付けしてあった取り付けブラケット(1)のボルトもしっかりと締め付けてください。
最後に触媒の遮熱板等を外している場合は元通りにして下さい。
(純正部品の締め付けトルクはメーカー指定通りにして下さい。)

テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

▲お願い！

E-HCR32・E-HNR32車両は、純正吊下げラバーステー(2')を移動させ、
付属フランジナット(M8)で締付けして下さい。

4. 「装着状態の確認」

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各ブランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各ブランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直してください。

《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い！

装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。